



38歳 埼玉県議会議員

# 吉田よしのり

通信 第165号 2013年 初夏号  
新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)  
電話 048-483-2777  
FAX 048-483-2780  
ホームページ <http://www.yoshiday.com>  
メール [saitama@yoshiday.com](mailto:saitama@yoshiday.com)

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(38才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー資格、アナリスト・経済・資格等も取得。
- 2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始まって以来の3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。2007年4月、トップにて再選。
- 2011年4月、無投票にて三期目当選。現在、無所属、民主党を中心とする第二会派の代表をつとめる。財政規律をしっかりと堅持し、今後のあるべき社会保障制度、教育制度について議論を展開している。
- 趣味は、水泳、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今、やらずしていつできる」



## 貧困ビジネス一掃条例を可決！

生活保護受給者が埼玉県や新座市でも増えている中、受給者に住む場所や食事などを提供する事業者の中に、生活保護費を食い物にするような事業者が現れています。

これまで5人以上の施設については社会福祉法による規制が行われていたましたが、4人以下にはなく、小規模な施設において、いわゆる「貧困ビジネス」を行う事業者が問題となっていました。

こうした状況を打開すべく、全国初となる新たな条例を議員提案し、先の議会で可決成立することとなりました。

小規模施設の事業者であっても、届け出が義務化され、施設においても適正な面積の確保、虐待防止に努めることなどが盛り込まれています。

生活保護については食い物にしている業者がいる一方、それに甘んじてしまっている方もいる現状。しっかりとした見極めが必要です。

## 近いがうまい、埼玉産！

埼玉県は首都圏内に位置していますが、意外にも全国有数の農業県でもあります。野菜は全国第6位、花きは全国第5位の産出額を誇っています。

ちなみに農産物別に見ると、全国1位はほうれんそう、ねぎ、こまつな、さといも、パンジー。2位にきゅうり、プロ

ッコリー、えだまめ、かぶ、ゆり、チューリップが続き、5位にチンゲンサイといったところです。

このように埼玉は野菜と花の宝庫でもあります。意外に強い埼玉県。

最近「フード・マイレージ」ということがよく言われています。食物を運ぶのに距離が長いと、CO2をたくさん出してしまい環境にとっていいことではない。近場の野菜は新鮮でおいしくそれがまた体にいい、という考え方です。

## 県政ミニ集会を開催中です！

市内の集会所等で県政ミニ集会を開催中です。先月は野火止地区で行いましたが、今月は5月25日(土)午後2時より、馬場集会所で行います。入退場自由で皆様からのご意見もお待ちしています。どなたでもお気軽にお越しください！

## チラシ配りのお手伝いさん募集！

ちょっとした空いた時間を使い、ご近所へのチラシ配りをしただけの方を大募集しています！

子育て中のママさんなど、ベビーカーでお買い物途中のママさんなどにもご協力いただいています！時給や手当等、お気軽にご連絡ください！



## 吉田よしのりの一行日記！

- 3/17 日本発達心理学会学術集会
- 3/18-19 県立医大設置プロジェクト、予算
- 3/21-22 県議会議案調査、予算委員会
- 3/23-24 性同一性障害学会学術集会他
- 3/25-26 県議会あり方検討委員会ほか
- 3/27 県議会本会議、採決、閉会
- 3/28-29 市内地域訪問、事務所会議他
- 3/30-31 市内保育園開所式、町会祭り他
- 4/1 市内地域訪問、事務所来客対応他
- 4/2 新座警察打ち合わせ、商工会会議
- 4/3-4 県議会会派視察
- 4/5 市内地域訪問、会派調整会議他
- 4/6 すぐそこ新座春祭り、事務所来客対応
- 4/7 新座駅頭、桶川市長選挙告示応援他
- 4/8 市立第五中学校入学式ほか
- 4/9 市内地域訪問、商工会会議
- 4/10 志木駅頭、市内地域訪問ほか
- 4/11 ひばりヶ丘駅頭、会派調整会議他
- 4/12 新座団地キャンペーン、都議会会合
- 4/13 野火止集会所でのミニ県政報告会
- 4/15 東久留米駅頭、市内地域訪問ほか
- 4/16-17 会派調整会議、商工会会合
- 4/18 老人クラブ連合会、商工会青年部
- 4/19 新座くらしの会定期総会ほか
- 4/20-21 新座植木・花野菜祭り開会式典
- 4/22 清瀬駅頭、片山婦人会定期総会
- 4/23 朝霞台駅頭、商工会青年部幹部会
- 4/24 自衛隊協力会総会、総支部会議
- 4/25-26 県議会文教委員会初会合ほか
- 4/27 大和田婦人会、社会福祉法人にいざ
- 4/28 ゴールデンウィークキャンペーン志木
- 4/29 GWキャンペーン、ひばりヶ丘駅頭
- 4/30 県議会会派会議、商工会常任会
- 5/1-2 会派調整会議、市内地域訪問他



## 政務活動費の全面公開は、 私たち党派が主張してきた事

昨年末、国会において地方自治法が改正され、「県政調査費」の名称が「政務活動費」に変わりました。

「政務活動費」は、「議員の調査研究その他の活動に資するため」と規定され、新たに「その他の活動に資するため」と付け加えられました。

「政務活動費」にあてることの出来る経費の範囲については、条例で規定して厳格に運用することに なります。

民主党・無所属の会では前任期から、県議会に制定されるに先がけて県政調査費の自主公開に踏み切り、遅れて制定された県議会の運用基準よりも厳格な基準を設けて運用してまいりました。今回新たに制定された条例は、私達が従来より求めて来た「領収書を添付しないことの例外事項」を無くすことが決まりました。

政務活動費では、使いみちが広がり無駄づかいが増えるとの懸念もあることを考慮し、党派としての当初の基本原則である①1円以上全ての領収書の添付、②飲食代に使わない、③外部監査を行う、を守ります。また、現状の県議会で定めた県政調査費の情報公開方式では使途の全容を認識しづらいことから、我が党派は今後も県民の皆様に対して党派独自に情報公開を行うことを継続します。

政務活動費への移行は、広く県民の皆様のご意見をお聞きし、議会の政策立案能力や、行政のチェック機能を高めるためのものであり、「機能する議会」を実現するために有効に活用して行きます。

私たち「民主党・無所属の会」は、日頃より県民の皆さまに、わかりやすい県民目線での議会活動を目指して各種の議会改革に取り組んでいます。

2年前の統一地方選挙の際には、党派公約として、議会改革については「議会から変える」と題し、「①議員定数削減を含め、選挙区等の抜本的見直しを行う」、「②政務調査費のさらなる透明化に向け、完全公開を進める」、「③議会基本条例の制定を目指す」の3点を公約致しました。

## 進む議会改革 党派の取り組み

①議員定数削減については、議員定数や選挙区の区割りなどの抜本の見直しについて、党派の中にプロジェクトチームを設置して、具体的に検討を進めると共に、議会の中で積極的に発言しています。

②政務調査費については、この度議会全体での完全公開を実現しました。

③議会基本条例は、都道府県では三重県

などで条例が作られ、条例に基づき議会改革が進んでいます。党派では、プロジェクトチームを設置して調査研究を進めています。

その他にも党派内に、防災・再生可能エネルギー・医療に関するプロジェクトチームを設置して、議会からの政策立案に取り組んでいます。

また東日本大震災後には、復興支援の予算を捻出する為に、県議会議員の報酬を1年間2割削減致しました。

なお、県の予算総額（一般会計）は、1兆6,757億円ですが、このうち議会に係る経費は30億円です。2%の割合です。



公務員と民間との格差是正のため、国家公務員退職手当法の改正に伴い、埼玉県では、国に準じて今年2月1日より退職金額を改定しました。その結果、教職員の早期退職希望者が多数に上り、その中には学級担任・教頭も含まれていました。

党派では、児童・生徒の学習及び学校生活全体における影響を最小限に抑え、埼玉県の公教育に対する信頼が失われることがないように、知事・教育長に対し、①自らのその責任を全うすることの意義について、再考することを促して頂きたい②学業・学校生活全般に影響を来すことのないようにして頂きたい③児童・生徒・保護者との信頼関係回復も含めて、どのように対応していくか明確なメッセージを早期に発信して頂きたい、と要望しました。

その後結果として、教育長からメッセージが出されるなど対応されました。

昨年度の時点で退職金を減額しなかった都道府県は、22ありましたが、その都道府県では、その分は何らかの形で県民の負担になっています。埼玉県の減額総額は約36億円になります。



## 「教職員の退職金引き下げに伴い、多数の早期退職希望が出てくる学校現場に混乱希望をきたさない事を求める要望書」を提出

昨年度の時点で退職金を減額しなかった都道府県は、22ありましたが、その都道府県では、その分は何らかの形で県民の負担になっています。埼玉県の減額総額は約36億円になります。

## 新代表挨拶



私たち「民主党・無所属の会」は、党派結成以来、県議会第2会派として、所属の14名が常に一致結束し、県民目線で活動が続けて参りました。そのような中、昨年末の総選挙においては、民主党に対して大変厳しいご評価を頂きました。私たちもその事実から目を反らさず、正に「一から出直す覚悟で、皆様の声をしっかりと県政へ反映させるため、さらに努力して参ります。」

さて、東日本大震災からちょうど二年が経ちます。被災地が再び活気を取り戻すため、息の長い復興支援が求められています。また同時に、想定される首都直下型大地震に備えることも、私たちが学び、対応しなければならぬ事です。我が党派では、いち早く防災プロジェクトチームを立ち上げ、意見提言を繰り返し行なって参りました。今後も、あくまで県民の生命を守るという事を第一に、防災対策のみならず、医療・福祉・教育問題等々、政策のプロジェクトとして県政に反映させて参ります。今後とも、どうぞよろしくお願致します。

民主党・無所属の会  
代表 吉田 芳朝